

## 成 幸 利 根

### 地下工事のトップランナー

### 白珪尚磨くゝの技術研鑽

(詩経)に「白珪尚磨く可し」という名言がある。「白珪」は上が丸くて、下が四角い、いわゆる上円下方の形をした見事な玉のこと、それも完全無欠のものを言う。その完全無欠の玉を尚

地下資源開発など、地下工事及び基礎工事におけるスペシャリスト集団。古くは道後温泉の掘削に始まり、日本のランドマークとなる大規模プロジェクトに数多く参画しており、社会資本整備になくはならない存在として業界で認知されている。1966年の創業以来、長年にわたり培ってきた独自の施工技術を擁しているが、それに甘んじておとなく技術改革にも注力。近年は環境対策や防災対策での取り組みを強化するな

ど、日々研鑽に努めるその姿は、白珪尚磨くゝの実践といえよう。昨年には取引先として同社を高く評価していた重仮設資材リース大手『ヒロセ』グループ傘下となり、東日本大震災の復興事業を始め社会インフラ構築において、より重要な役割を担うべく社員の士気も高まった。今後はグループ企業としてはもとより独立独歩での伸展を標榜しており、日本のものづくりの土台を支えてゆく気概が清々しい。

台東区上野5・23・14